資料⑩

柏市総合交通計画評価方法について（案）

1　評価の方針について

・計画の評価は２段階で実施する。

・第１段階として、各施策の方向（施策内容別）において、施策実績（アウトプット）指標を設定し、評価する。指標の設計に当たっては、可能な限り、実施した施策に合致した定量的な指標を導入する。

・第２段階として、各基本方針において、施策効果（アウトカム）指標を設定し、評価する。指標の設計に当たっては、可能な限り、各施策の方向による効果を総合的に評価できる指標を導入する。

【第１段階評価】 施策の方向・内容	→	【第２段階評価】 基本方針・基本目標
施策実績（アウトプット）評価		施策効果（アウトカム）評価

2　手法

（１）第１段階評価

①達成度（中間評価踏襲）→中間評価から変化を把握する。

・施策単位ごとに，計画スケジュールにおける実施内容の達成度を３段階で評価する。

・計画量は，計画期間内に位置づけた施策を完了させるまでの事務事業量とする。

・実績量は，平成 31 年度末時点での施策を進めたきた事務事業量とする。

・<u>到達度（％）＝実績量／計画量×１００</u>

> ・計画に対して 80～100％の実績を「Ａ」とする。
> ・計画に対して 50～80％の実績を「Ｂ」とする。
> ・計画に対して 50％未満の実績を「Ｃ」とする。

②実績評価指標の導入（新規）

・施策のうち完了（実施）しているものは、実施した内容を踏まえ、実績評価指標を設定し、実績を評価する。

・施策を実施（完了）したことによって発生した効果について、数量的にとらえ、実施前と比較をして評価する。

③総括

・①及び②の評価結果を踏まえ、各施策の方向（施策内容別）に評価を総括する。

（２）第２段階評価

①成果指標の導入（新規）

・各施策の方向における実施内容を総括し、基本方針レベルにおいて評価をするための成果指標を設定し、評価する。

・施策効果は，市民アンケート，東京都市圏パーソントリップ調査結果等から定量的に分析することが有効である。

・施策効果は，施策の効果浸透，施策間の相乗効果などにより効果の現れにタイムロスがあることに留意する。

（３）とりまとめ

第１段階評価及び第２段階評価の結果をとりまとめ、積み残した課題、新たに発生している課題、今後の展開について総合的にとりまとめる。

策定スケジュールについて（案）

【令和元年度】

令和２年１月　　現況分析，現計画の事後評価，策定スケジュール

令和２年３月　　課題整理，将来都市像の検討

【令和２年度】

令和２年７月　　将来ネットワークの検討，基本方針

令和２年９月　　施策パッケージ

令和２年１１月　パブリックコメント素案

令和３年１月　　答申